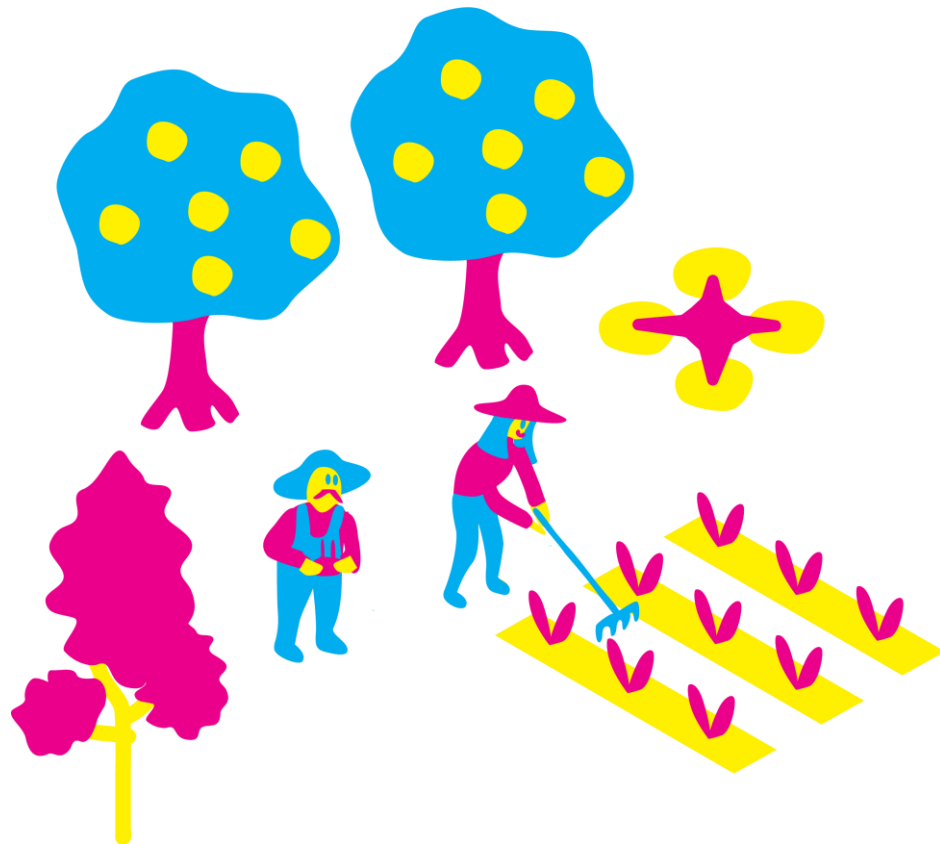


今治市デジタル未来戦略

(別添1) 進捗管理表 (令和4年度)



- 1 今治市デジタル未来戦略 基本戦略
- 2 今治市デジタル未来戦略 実施戦略
- 3 **(別添1) 進捗管理表 (各年度)**
- 4 (別添2) デジタル関連用語集

今治市役所 総合政策部 未来デジタル課

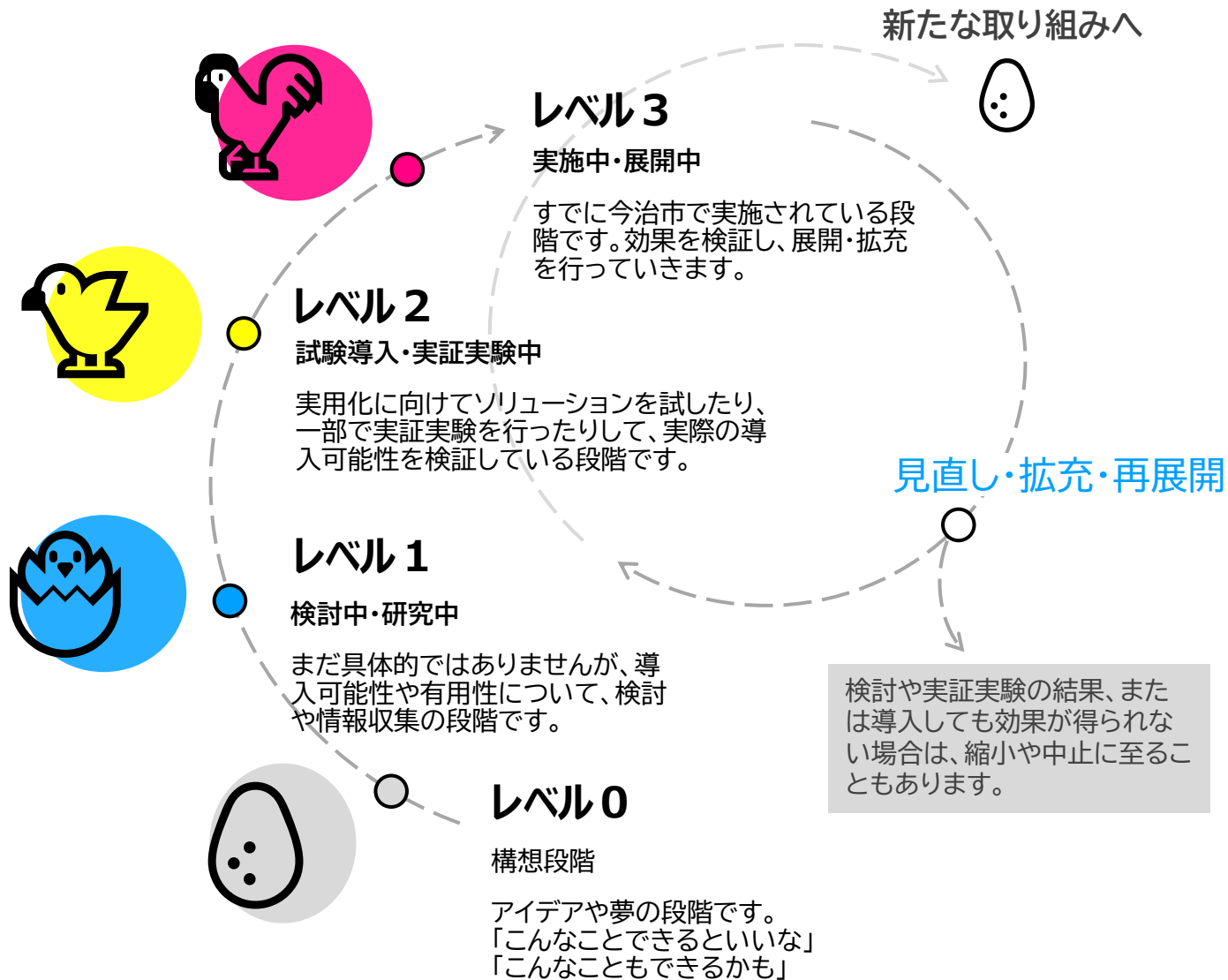
〒794-0081

愛媛県今治市別宮町1丁目4番地1

電話 0898-36-1509 (直通)

e-mail mirai@imabari-city.jp

(別添1) 進捗管理表



実装レベルの考え方

各分野における今治市での実装(導入)状況の目安として、0~3の4段階のレベルで表現しています。

実装状況は毎年度、進捗を確認します。検討や実証を行う段階で、別の分野に分歧したり、複数の分野を集約したり、あるいは中止や見直しを行うこともあります。

| レベル | 状況 |
|-----|------------|
| 0 | 構想段階 |
| 1 | 検討中・研究中 |
| 2 | 試験導入・実証実験中 |
| 3 | 実施中・展開中 |

「 構想段階」や「 検討中・研究中」のものについては、技術や法令の制限や、今治市への適正の有無などによって、必ず実装できるとは限りませんが、将来的な実装を想定して構想・研究しているものです。

(別添1) 進捗管理表

分野番号

各分野の詳細については「実施戦略」で説明しています。

| | 大分野 | 中分野 | 方針 | 分野番号 |
|---------|---------------------------|------------------|--|------|
| 市民生活のDX | デジタルで「ひとりひとり」が輝く今治をみんなで創出 | コミュニティのDX | ICTを活用した新しくも懐かしいコミュニティづくり | 1-1 |
| | | 健康・医療・介護のDX | デジタルが支える健康といつまでも自分らしい暮らし | 1-2 |
| | | 子育てのDX | 子どもを守り育むICTニューボラによる切れ目のない支援 | 1-3 |
| | | モビリティのDX | どこへでも「行ける」「届く」暮らしを中心にしたモビリティサービスの充実 | 1-4 |
| | | 教育のDX | ICTで「誰もが」「いつでも」「どこからでも」自分らしく学べる教育環境の整備 | 1-5 |
| | | 環境・エネルギーのDX | デジタル技術で豊かな自然環境を次世代につなぐ | 1-6 |
| | | 文化・スポーツのDX | バーチャルでつなぐ今治と世界の文化・スポーツ | 1-7 |
| | | 社会参加のDX | デジタルで支え合うインクルーシブ社会の実現 | 1-8 |
| | | デジタルデバйд対策 | 誰一人取り残されないデジタル社会の実現 | 1-9 |
| まちづくりDX | デジタルで市民の命を守り「商いができる」今治の実現 | 産業のDX | デジタルによる産業のイノベーションとDX人材の育成 | 2-1 |
| | | 商流のDX | 今治の「いいもの」を世界に広げるデジタルマーケティングとバーチャル商店街 | 2-2 |
| | | 人流のDX | デジタルを活用したリアルなにぎわい拠点づくり | 2-3 |
| | | 空間距離のDX | しまなみ海道「ゼロ距離」生活の実現 | 2-4 |
| | | インフラのDX | デジタルを活用したスマートなインフラ投資とインフラのデータ化 | 2-5 |
| | | 観光のDX | デジタルとリアルな相乗効果で観光力をグレードアップ | 2-6 |
| | | 移住のDX | 心地よく「住む」リモートで「働く」日常がワーケーションな移住先進地 | 2-7 |
| | | 農林水産業のDX | 農林水産業のスマート化による安定した生産と就業者の確保 | 2-8 |
| | | 防災・安全のDX | デジタルを活用した防災力強化と安全対策 | 2-9 |
| 行政DX | 「市民が真ん中」の視点で超スマート自治体へ体質変革 | 住民サービスのDX | 時間や場所にとらわれずワンストップでサービスが受けられる手のひら市役所 | 3-1 |
| | | 情報発信のDX | クロスメディアによる情報発信とプッシュ型で最適な情報提供 | 3-2 |
| | | 業務改革のDX | 業務のデジタル化による生産性向上とスマートな行政運営 | 3-3 |
| | | 働き方のDX | 時間や場所にとられない生産性の高い新しい働き方への転換 | 3-4 |
| | | データ連携のDX | たとえばマイナンバーによる統合IDの実現などデータ連携プラットフォームの構築 | 3-5 |
| | | データ活用のDX | オープンデータの活用による官民サービスの高度化 | 3-6 |
| | | 通信環境のDX | DXの基盤となる利用しやすい情報通信環境の整備 | 3-7 |
| | | DX人材の育成 | スマート自治体の実現に向けたDX人材の育成 | 3-8 |
| | | DX推進のためのセキュリティ対策 | DXによる利便性の向上とセキュリティ確保の両立 | 3-9 |

今治市デジタル未来戦略 別添1 進捗管理表：令和4年度

| 番号 | 取組名称 | 目指す未来像 | 活用可能な技術等の例 | R4年度現在 | | 実装レベル目標 | | | | | 分野番号 | 関連リンク | 参照する計画等 |
|----|------------------|--|----------------------------------|--------|--|---------|----|----|----|----|------|---|----------------------------|
| | | | | 実装レベル | 取組状況 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | |
| 1 | 地域コミュニティのデジタル活用 | SNSやWeb会議等を活用して、自治会など地域コミュニティの活性化を図ります。 | SNS・Web会議・スマホ教室 | 2 | 令和4年度より、愛媛県のデジタルデバйд対策の一環として、地域コミュニティのデジタル化支援を実施しています。また、市内27地区の地区自治会の一部では、LINEと紙媒体を併用した自治会情報の発信等が住民自身により始まりました。 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 1-1 | | |
| 2 | コミュニティのデジタル拠点づくり | 地域活動における拠点づくりにデジタルの可能性を探ります。 | オンライン公民館、メタバース、SNS | 0 | 利用の可能性を広げるため、公民館にWi-Fiを導入しました。 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1-1 | | |
| 3 | データヘルスの推進 | 医療に関するビッグデータを活用し、レセプトや健診結果などをAIで分析することで、今治市国民健康保険被保険者の健康課題を把握し健康づくりに役立てます。 | AI、厚生労働省ナショナルデータベース、国保データベースシステム | 1 | 被保険者の医療や健診データから分析ツールを用いてハイリスク者を把握し、生活習慣病重症化予防事業に取り組んでいます。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1-2 | https://www.city.ima-bari.ehime.jp/hoken/ | 今治市保健事業実施計画（データヘルス計画） |
| 4 | デジタルを活用した健康づくり | 健康づくり応援ポイント事業などにデジタルを活用し、市民が楽しみながら健康づくりに取り組める仕組みを作ります。 | 健康マイレージアプリ | 1 | 現在、紙のカードで取り組んでいる健康づくり応援ポイント事業に、健康マイレージアプリを導入する予定です。 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-2 | | |
| 5 | 医療・介護等への技術活用 | 遠方に住まう高齢家族の見守りや、要介護者のベッドからの転落防止、徘徊高齢者の早期発見などにデジタル技術を活用し、要支援・要介護者の安全な暮らしと、介護負担の軽減を図ります。 | IoT技術による見守り、人感センサー、データ連携基盤 | 2 | 徘徊高齢者対策として、GPS（*92）を使った位置情報探索サービス利用に補助を行っています。また、愛媛県の事業で、令和4年度、市内の介護老人保健施設8施設にセンサーによる見守りシステムを導入しました。 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1-2 | https://www.city.ima-bari.ehime.jp/kaigo/f10/ | |
| 6 | 遠隔診療の導入推進 | 通院等にかかる市民の負担軽減および利便性向上を図るために、医療機関の遠隔診療導入を推進します。 | 遠隔診療 | 3 | 令和4年度、遠隔診療を導入する医療機関に対し補助を行いました。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-2 | | |
| 7 | 介護認定手続きのデジタル化 | 介護認定の訪問調査やその後の審査をデジタル化することで手続きにかかる時間を短縮すると同時に審査のばらつきをなくし、介護の必要な方をすまやかにサービスにつなげます。 | タブレット、AI | 2 | 訪問調査へのタブレット導入に向けて実証を行っています。 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-2 | | |
| 8 | アプリ等を活用した子育て支援 | 子育て支援アプリ「いまはり子育て応援ナビ」にて、予防接種時期のプッシュ型通知や、子育てに関する情報発信を行っています。この他にも機能の拡張を検討しています。 | 子育て支援アプリ | 3 | 令和5年1月現在：登録件数1,701件 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-3 | | |
| 9 | 貧困家庭支援 | 食料品の支援が必要な家庭をサポートするフードシェアリングやコミュニティフリッジ（*93）（公共冷蔵庫）、プライバシーを確保した相談事業などにデジタル技術を活用します。 | コミュニティフリッジ、オンライン相談 | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1-3 | | |
| 10 | オンライン育児相談 | チャットアプリや通話アプリを活用し、育児相談を行います。 | LINE、Zoom等のチャット・通話アプリ | 2 | オンラインで遠隔相談できる体制を、場所などの制限付きで構築しています。民間の相談サービスの活用も含め、今後のサービス拡充についても検討を進めます。 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 1-3 | | 今治版ネウボラ「未来子育て支援機構（仮称）」創設計画 |

※ 実装レベルは、おおむね次の段階を示しています。 0：🌀構想段階 1：🔍検討中・研究中 2：🧪試験導入・実証実験中 3：🏆実施中・展開中

| 番号 | 取組名称 | 目指す未来像 | 活用可能な技術等の例 | R4年度現在 | | 実装レベル目標 | | | | | 分野番号 | 関連リンク | 参照する計画等 |
|----|----------------------|--|------------------|--------|---|---------|----|----|----|----|------|---|----------------------------|
| | | | | 実装レベル | 取組状況 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | |
| 11 | 母子保健、福祉、教育の情報共有 | 電子カルテなど、妊娠期から18歳までの情報を関係機関で共有できるシステムと、手続き・相談・情報提供がワンストップで可能な環境を構築し、切れ目のない子育て支援や虐待対応等を行います。 | 電子カルテ、子育て支援アプリ | 1 | 現在複数のシステムや紙で管理されている福祉や教育の情報を集約・管理するため、現状調査と管理方法の検討を行っています。 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1-3 | https://www.city.ima- bari.ehime.jp/neuvola/ /kodomo_kosodate_s ien/miraikosodate.pd f | 今治版ネウボラ「未来子育て支援機構（仮称）」創設計画 |
| 12 | 保育所等のICT化の推進 | 保育所等における事務の効率化や保護者とコミュニケーション機能の強化を図ることによって、保育体制の充実を図ります。 | 保育所ICTシステム | 2 | 令和3年度から私立保育所等へのICTシステム導入を支援しています。令和4年度には公立保育所・認定こども園にシステム導入しました。今後、効果を検証し、必要に応じて機能の拡張などの改善を図っていきます。 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-3 | | |
| 13 | 地域交通問題の解消 | 島しょ部や山間部など人口減少地域においても、自動運転バスやライドシェアなどを活用し、交通ネットワークを維持します。 | 自動運転、ライドシェア | 2 | 大三島地区にて乗り合い送迎サービス「チョイソコ」の実証実験を行っています。 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1-4 | | |
| 14 | 商品や薬の無人配送 | 医療機関のない集落や、災害によって交通が遮断された地域に日用品や薬など必要な物資を空から届けられるよう、ドローンによる配送を行います。 | ドローン、無人走行車両 | 2 | 国家戦略特区を活用し、今治市近未来技術実証ワンストップセンターにおいて令和3年度以降、ドローン技術の実証実験の支援を行っています。実証実験を重ね、島しょ部へのドローン配送の実用化を目指します。 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1-4 | https://www.city.ima- bari.ehime.jp/siminga mannaka/kinmirai/on estop/ | 地域再生計画 |
| 15 | バスや船舶の運航状況をリアルタイムで把握 | GPSを活用し、リアルタイムで公共交通機関の動きを把握できるようにすることで、交通手段の少ない地域のバス待ちの不安をなくし、住民や観光客の移動をスムーズにします。 | GPS、交通アプリ | 0 | 他の地域の事例を参考にニーズを探ります。 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1-4 | | |
| 16 | オンライン教育の実施 | さまざまな事情で学校に通学できない子どもたちも、オンラインで教室や教師とつながり、どこからでも学ぶことができる環境を整えます。 | | 3 | 事情により教室に通えない子どもがオンラインで、自宅や病院または学校内の別室から学んだり、交流したりできる環境を整備しています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-5 | | |
| 17 | 児童のネットワーク学習環境の整備 | 学校に来ることができない子どもたちもオンラインでどこからでも学ぶことができるよう、通信やオンライン学習の環境を整備します。 | 情報通信機器（USBドングル）等 | 3 | 令和4年度より、自宅にインターネット環境のない児童の世帯に情報通信機器を貸与して、夏季・冬季長期休暇期間におけるオンライン学習の機会を確保しています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-5 | | |
| 18 | AIを活用した個人学習 | 個々の学習履歴に応じてAIが最適な学習メニューを提案するなど、個人に合わせた学びを選択できるようにします。 | AI | 3 | 個々の学習履歴に応じてAIが最適な学習メニューを提案する学習用ドリルソフトを導入しています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-5 | | |
| 19 | 他地域や海外との交流学習 | オンラインで市外や国外とつながり、多様な人々と交流しながら学ぶことでグローバルな視点を育みます。 | | 3 | オンラインで海外との交流や、離島の学校同士の交流を行っています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-5 | | |
| 20 | デジタルを活用した3R推進 | デジタル技術をごみの分別や回収等に活用し、ごみの減量や3R（リユース、リデュース、リサイクル）を推進します。 | ごみ分別・減量アプリ | 3 | 平成30年度より、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」に対応して、分別回収をサポートしています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-6 | https://www.city.ima- bari.ehime.jp/recycle /app_3R/ | |
| 21 | エネルギー使用量の可視化 | 家庭のごみ排出量やエネルギー消費量などがデータで可視化されることで、住民の環境意識の向上につなげます。 | | 0 | 今治市役所の温室効果ガスの排出量を毎年度今治市HPIに掲載しています。 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1-6 | | |

※ 実装レベルは、おおむね次の段階を示しています。 0：🌀構想段階 1：🔍検討中・研究中 2：🧪試験導入・実証実験中 3：🏆実施中・展開中

| 番号 | 取組名称 | 目指す未来像 | 活用可能な技術等の例 | R4年度現在 | | | | | 実装レベル目標 | | | | | 分野番号 | 関連リンク | 参照する計画等 |
|----|---------------------|--|------------------------------------|--------|---|--|--|--|---------|----|----|----|----|------|---|--------------------|
| | | | | 実装レベル | 取組状況 | | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | |
| 22 | 環境エコアクションの推進 | AIによるフードロス削減や、環境配慮行動へのインセンティブ付与などにより、自発的なエコアクションを推進します。 | インセンティブ付与のためのポイントアプリの導入 | 0 | 食品ロス削減啓発や、フードドライブ開催店舗をHPに掲載しています。 | | | | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1-6 | | |
| 23 | DX博物館 | デジタルアーカイブや、XR（*94）技術を活用し、今治の伝統文化や文化遺産を全世界に発信します。また、バーチャルの世界で、現実には見ることのできない歴史や科学を体験できる場を作ります。 | VR、AR（*95）、MR（*96）、メタバース、デジタルアーカイブ | 2 | 今治城の天守展望台から江戸時代の今治城下の再現風景を見渡せる「今治城AR」アプリや、村上海賊ミュージアムにて海賊の暮らしを体験できる「村上海賊戦国時代体験VR」を制作、提供しています。 | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1-7 | https://www.city.ima-bari.ehime.jp/museum/imabarijo/event/shirase.html?p=1121 | |
| 24 | eスポーツの普及推進 | どこでも、誰でも参加できるeスポーツを通じて、社会参加や身体機能の向上などを目指します。 | eスポーツ | 1 | 令和4年度より、eスポーツに関するプロジェクトチームを設置し、活用方法を検討しています。R5年度はスタートアップイベントを実施する予定です。 | | | | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 1-7 | | |
| 25 | デジタル技術による障がい者サポート | 分身ロボットによる外出や就労の代行や、ハンディキャップを補う機器の利用により、誰もが不便を感じない暮らしを支援します。 | 分身ロボット | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1-8 | | |
| 26 | AI字幕・翻訳機器の活用 | AIによる同時自動字幕・翻訳アプリなどにより、言語や聴覚に障がいのある方や、外国語話者も不便なく日常生活や各種の手続きを行える環境を目指します。 | AI字幕・翻訳アプリ | 1 | 既に高機能な文字起こしアプリや翻訳アプリがスマートフォンやタブレットで簡単に利用できるようになっており、窓口業務においても一部で活用されています。 | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1-8 | | |
| 27 | オンラインコミュニティの形成 | 多様な個性を持つ人々が、オンライン上の仮想空間などを活かし、自分に合ったコミュニティなどの居場所を見つけ、参加できる社会を目指します。 | インターネット、SNS、メタバース | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1-8 | | |
| 28 | デジタル技術利用サポート体制 | デジタル機器に不慣れな人を取り残さないサポート体制が確立し、多くの住民が官民の様々なサービスをオンラインで利用できる社会を目指します。 | スマホ教室、スマホ相談窓口 | 3 | 令和3年度より、愛媛県や携帯キャリア会社と協力し、公民館でのスマホ教室の開催や、郵便局での「愛顔のスマホ相談窓口」事業を実施しています。 | | | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1-9 | https://www.city.ima-bari.ehime.jp/mirai/gao_spsoudan/ | |
| 29 | 地元企業へのICT支援、マッチング支援 | 地元企業のイノベーションをサポートするため、ICT企業やシビックテックとのマッチングを支援します。 | サテライトオフィス整備・誘致 | 3 | 市内にIT関連企業の集積を図り、雇用のミスマッチ解消と地域のIT人材の育成を推進するため、都市部から企業や人を呼び込むサテライトオフィスの整備運営に取り組む事業者への支援を実施しました。 | | | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-1 | https://www.city.ima-bari.ehime.jp/sangyou/ITyuchi-seibi/ | 今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略 |
| 30 | DX人材の育成 | 地元企業で活躍するDX人材の育成を支援します。 | | 1 | DX人材の育成を担う企業を誘致し、連携してDX人材育成の取組を進めています。 | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2-1 | | 地域再生計画 |
| 31 | ICT・デジタル分野の起業支援 | 市内でのデジタル分野の起業を支援します。 | | 1 | ITを活用したスタートアップ支援を担う企業の誘致を行っています。今後は連携して起業・創業者の支援に取り組む予定です。 | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2-1 | | 地域再生計画 |
| 32 | デジタルマーケティングの推進 | 今治の「いいもの」を国内外に売り出すため、CRM（顧客関係管理）の手法を用いてデジタルマーケティングに役立てます。 | 顧客データ等 | 1 | 顧客データ等のCRM活用について研究を進めています。 | | | | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-2 | | |

※ 実装レベルは、おおむね次の段階を示しています。 0：🌀構想段階 1：🌀検討中・研究中 2：🌀試験導入・実証実験中 3：🌀実施中・展開中

| 番号 | 取組名称 | 目指す未来像 | 活用可能な技術等の例 | R4年度現在 | | 実装レベル目標 | | | | | 分野番号 | 関連リンク | 参照する計画等 |
|----|---------------------------|---|---|--------|---|---------|----|----|----|----|------|-------|---------|
| | | | | 実装レベル | 取組状況 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | |
| 33 | バーチャル商店街 | いつでもどこでも誰でも今治の雰囲気を楽しみながらショッピングできるバーチャル商店街など、インターネットを活かした新しい商売の形で今治産品を世界に届けます。 | メタバース、デジタルツイン(*97)、eコマース | 1 | 「あきない商社(仮)」の取組を軸に、技術や制度について情報収集を進めます。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2-2 | | |
| 34 | 地域ポイント制度 | 地域の内外から調達した資金を循環させる仕組みを核として、人、モノ、コトが交わり続ける持続可能な地域の実現を目指します。 | 地域ポイント、仮想通貨、NFT(*98) | 1 | 他自治体の取組や既存サービスなどを参考に情報収集と研究を行っています。 | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 2-2 | | |
| 35 | 人流データを用いたにぎわいづくり | 人流データを活用し、人々の属性やニーズを把握し、それらをもとにデザインされた人が集まる価値と理由があるリアルな拠点を整備して、今治のまちなかのにぎわいづくりに役立てます。 | 人流データ分析 | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2-3 | | |
| 36 | 交流拠点(シェアスペース)づくり | インターネット環境が整備された交流スペースを整備します。また、広く市民の交流の場とするだけでなく、DXに触れる場としても活用します。 | フリーWi-Fiスポット、コワーキングスペース(*99) | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2-3 | | |
| 37 | 公共施設や駐車場混雑状況の「見える化」 | 公共施設や駐車場、観光施設などの利用状況をリアルタイムでシェアすることで、人の動きを「見える化」し、混雑を回避し、快適な都市空間を作ります。 | 人流データ、GPS | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2-3 | | |
| 38 | ドローン活用による離島への無人配送 | 離島でも日用品や医薬品など生活に必要な物資を、島から出ることなく入手できるよう、海を越えるドローン配送を可能とします。 | ドローン | 2 | 令和4年度に、波力から入三島間の最長8kmのドローン物流の実証実験を、今治市では初となるLEVEL3(無人地帯での目視外飛行)で実施しました。 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2-4 | | |
| 39 | IoT技術を用いた水道施設の効率的な維持管理の推進 | 水道施設の点検等にドローンやセンサーを活用したり、使用状況のデータを収集・分析することで、効率的な運用・維持管理を目指します。 | ドローン、センサー、常時漏水監視システム等 | 2 | 現在、一部地域においてクラウド型IoT常時遠隔漏水監視システムの試験導入を行っています。今後、試験導入の結果を検証し、実導入を目指します。 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-5 | | |
| 40 | インフラへのビッグデータ活用 | インフラ情報をデータベース化しビッグデータとして、維持管理や防災、減災など市政のさまざまな分野で活用します。 | GIS(*100)、都市3Dモデル、維持管理データベース、社会資本情報プラットフォーム | 2 | 上下水道、道路、都市計画、資産税など多くの分野でGIS(地理情報システム)を活用しています。 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2-5 | | |
| 41 | 公共施設・街路灯へのIoT活用 | 公共施設や街路灯などにIoTやセンサーを備え付け、防犯や省エネ、人流解析に役立てます。 | スマート街路灯(*101)、環境センサー | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2-5 | | |
| 42 | ドローン等を活用したインフラ点検 | 橋脚や道路、下水道などのインフラ点検や清掃を機械化し、安全かつ低コストで実施します。 | ドローン、自走式画像展開カメラ | 1 | 下水道の維持管理への自走式画像展開カメラ導入に向け検討中です。 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-5 | | |
| 43 | 道路等異常通報システム | 道路や河川の危険箇所を市民がオンラインで報告できるようにすることで、迅速な修繕対応を可能にします。市民と行政が一緒になって安全で住みよい街を作ります。 | オンラインフォーム | 3 | 令和3年10月より、市HP及び市公式LINEに、道路等の危険箇所を通報できるフォームを設置しています。令和5年2月末時点で260件の通報を受け付けました。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-5 | | |
| 44 | 観光へのVR、デジタル技術の導入 | オンラインやVR技術を活用して、今治の魅力を世界に発信したり、現地での観光を楽しんだりできるコンテンツを提供します。 | VR、デジタルツイン | 0 | VR映像コンテンツを活用し、県外イベント出展時等にPRを行っています。今後も活用を進めます。 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2-6 | | |

※ 実装レベルは、おおむね次の段階を示しています。 0: ①構想段階 1: ②検討中・研究中 2: ③試験導入・実証実験中 3: ④実施中・展開中

| 番号 | 取組名称 | 目指す未来像 | 活用可能な技術等の例 | R4年度現在 | | 実装レベル目標 | | | | | 分野番号 | 関連リンク | 参照する計画等 |
|----|------------------------------|--|----------------------------|--------|---|---------|----|----|----|----|------|---|---------|
| | | | | 実装レベル | 取組状況 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | |
| 45 | 観光に役立つスマホアプリ | 観光客が個人のニーズに応じた観光スポット紹介や、混雑状況、災害時の避難情報などを受け取れるサービスを提供し、誰もが快適に観光を楽しむようにします。 | 観光アプリ | 1 | 民間の地図情報アプリ等を活用し、観光情報を発信することを検討しています。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2-6 | | |
| 46 | 観光施設への電子決済導入 | 市内の観光施設等に電子チケットやキャッシュレス決済を導入します。 | 電子チケット、キャッシュレス | 3 | 令和4年度現在、市内9箇所の観光施設にキャッシュレス決済を導入しています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-6 | | |
| 47 | リモートワーク、ワーケーション支援 | どこにいても都市部と同様に働ける環境を整備し、今治で働きながら暮らしたり観光したりできるように、企業のリモートワークやワーケーションの誘致を推進します。 | リモートワーク、ワーケーション、オフィスカー | 3 | 令和4年度、ワーケーションのモデルツアーなどを委託により実施しました。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-6 | https://www.city.imabari.ehime.jp/kankou/proposal02/ | |
| 48 | 今治ワクワクミヨク100名鑑のデジタル化 | 今治市職員による「今治ワクワクミヨク100プロジェクトチーム」のメンバーが掘り起こした、本市の知られていない魅力ある産品やサービス等について紹介した冊子を、WEB紙面やアプリコンテンツとしてデジタル上でも展開します。 | Ehime ebooks, 地図アプリ | 3 | 令和4年3月の100名鑑（紙媒体）刊行時にEhime ebooks化。令和4年8月には、ジザイめっけのめっけブック（地図アプリ）によりアプリコンテンツ化。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-6 | https://iimabari.jp/news/2022/news-48.html | |
| 49 | i.i.imabari!デジタルツアー（ライブコマース） | ライブコマースによって、一次産品のみならず、工業製品やコト体験サービスなどをPRし、販売促進とシティプロモーションが一体となった情報発信を行います。 | デジタルプラットフォーム上でのライブ動画配信サービス | 2 | 市プロジェクトチーム及び民間事業者等（今治ブランド戦略会議メンバー）で次年度以降の展開含め検討中です。 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2-6 | | |
| 50 | デジタル移住先進地 | バーチャル移住体験やデジタルコンテンツによる移住情報発信により、移住希望者に効果的にアプローチする、日本有数の移住先進地を目指します。 | バーチャル移住体験、電子書籍 | 1 | 移住総合パンフレットの電子書籍化に向け準備中です。 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-7 | | |
| 51 | スマート農林水産業の推進 | 農林水産業の現場にドローンやセンサー、自動運転などの技術を導入し、生産者の負担を軽減し、生産性を向上させます。 | 農業センサー、自動運転、ドローン、AI、自動除草機 | 2 | 農林水産業の現場でのデジタル技術の導入を市として支援していきます。 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2-8 | | |
| 52 | デジタル技術によるノウハウの伝承 | 経験が求められる農林水産業の現場においても、デジタルを活用したノウハウ伝承により新規参入者の生産性を向上させ、収入の安定と新規就労者の増加を目指します。 | | 0 | 当事者のニーズに応じ、技術や制度について情報収集を進めます。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2-8 | | |
| 53 | AIによる災害危険予測 | 国や県と連携し、既往災害のデータや地形情報などから、AIが災害の発生や被害の規模範囲、安全な避難経路などを予測することで、住民を被害から守ります。 | AI、ビッグデータ | 0 | AIの実用性や精度を含め、愛媛県や国の動向を注視しつつ活用可能性を検討します。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2-9 | | |

※ 実装レベルは、おおむね次の段階を示しています。 0：🌀構想段階 1：🔍検討中・研究中 2：🧪試験導入・実証実験中 3：🏆実施中・展開中

| 番号 | 取組名称 | 目指す未来像 | 活用可能な技術等の例 | R4年度現在 | | 実装レベル目標 | | | | | 分野番号 | 関連リンク | 参照する計画等 |
|----|--------------------|--|---------------------------------|--------|---|---------|----|----|----|----|------|---|-------------|
| | | | | 実装レベル | 取組状況 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | |
| 54 | ドローンやIoTによる災害状況把握 | 災害発生時にはドローンやIoT機器など多様な媒体から災害情報を早期に把握、可視化して、的確な対応が取れる体制を構築します。 | ドローン、IoT機器 | 2 | 災害時には消防用ドローンで指揮管理に必要な情報収集を行います。今後は映像転送システムを導入し、119番通報時にも活用するため調整中です。また、一般社団法人しまなみドローン協会と、災害時の情報収集に関する協定を結んでいます。 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 2-9 | https://www.city.imabari.ehime.jp/bousai/info/info0001/ | |
| 55 | SNSによる災害情報収集・発信 | SNS分析により災害情報を収集し災害対応に役立てるほか、SNSで災害に関する情報を発信します。 | Twitter、LINE | 1 | 現在、Twitterにて災害情報を随時発信しています。また、警報・避難指示の被害情報をLINEのトーク画面に発信できるか検討中です。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2-9 | https://city-imabari.secure.force.com/ | |
| 56 | 見守りカメラによる子供の安全確保 | 防犯カメラや見守りカメラを活用し、地域や通学路、子どもの安全を確保します。 | 防犯カメラ、IoT機器 | 1 | 今治市防犯協会が自治会に対し防犯カメラの設置補助を行っています。地域の安全作りに連携して取り組んでいます。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2-9 | | |
| 57 | 車両走行情報による生活道路の安全対策 | 公用車などの車両にセンサーやカメラを搭載し、道路の危険箇所情報をいち早く収集・把握して、生活道路の安全対策に役立てます。 | 車載カメラ、振動センサー | 1 | スマートフォンのカメラやセンサーを活用し、市道の状況把握を行う実証実験に向け調整中です。 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2-9 | | |
| 58 | 緊急防災情報伝達システム | ハザードエリア居住者の把握を行うことで個人別の災害対策を実現し、災害情報をいち早く市民へ伝えるため、防災無線や携帯電話、テレビ、コミュニティFMラジオ、SNSなど多様なメディアを通じて一括伝達を行います。 | 災害情報システム、SNS | 2 | 緊急時には防災無線やコミュニティFMラジオ、SNSなどで災害情報を発信しています。 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-9 | https://www.city.imabari.ehime.jp/bousai/kinkyubousai/ | |
| 59 | Web版防災マップ | 総合防災マップWeb版を作成し、PCやスマートフォンから容易に災害別の危険箇所等が閲覧できるようにします。 | | 3 | 防災マップWeb版を今治市ホームページから閲覧可能です。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2-9 | https://city-imabari.secure.force.com/P_PUB_VF_KakudaiMap | |
| 60 | 行政手続きのオンライン申請 | 24時間いつでも、どこからでも手続きや相談を行えるよう、オンラインでの申請・手続きの環境を整備します。 | 公的個人認証サービス | 1 | 令和元年度現在、2%の手続きでオンライン申請を可能としています。令和7年度までに70%の手続きのオンライン化を目指します。 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3-1 | | 今治市行政改革ビジョン |
| 61 | 「書かない窓口」「待たない窓口」 | 窓口での手続きに申請書の記入を不要とし、市民の負担を軽減する「書かない」窓口の導入を進めます。また、窓口の混雑状況を見える化して混雑を緩和し、「待たない」窓口を実現します。 | 人流データ マイナンバーカード びったりサービス (*102) | 3 | 現在、窓口の混雑状況や呼び出し番号はオンラインで確認できます。また令和4年度末までには、マイナンバーカード・びったりサービスを利用することで、転出届出時の来庁が不要になります。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-1 | | |
| 62 | AIによる問い合わせ対応 | 定型的な問い合わせに対してはAIが文字や音声によるチャットで24時間対応することで、住民の利便性を向上させると同時に、職員はより重要度の高い相談などに注力できるようになります。 | AIチャットボット | 2 | 今治市HP上で24時間対応可能なチャットボット（文字）を運用しています。回答内容の精度に課題があるため、機能の向上を目指します。 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3-1 | https://ehime-public-edia.com/webchat/city_imabari/ | |
| 63 | 生活困窮者自立支援事業のデジタル化 | 従来の対応方法(窓口、電話、メール)では拾い上げることができない困りごとを、オンライン通話や相談アプリなど多様な方法で把握し、支援できるよう努めます。 | メタバース(仮想空間)相談、家計診断アプリ、適職診断アプリ | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3-1 | | |

※ 実装レベルは、おおむね次の段階を示しています。 0: ①構想段階 1: ②検討中・研究中 2: ③試験導入・実証実験中 3: ④実施中・展開中

| 番号 | 取組名称 | 目指す未来像 | 活用可能な技術等の例 | R4年度現在 | | 実装レベル目標 | | | | | 分野番号 | 関連リンク | 参照する計画等 |
|----|---------------------------|---|--------------------------|--------|--|---------|----|----|----|----|------|-------|-------------|
| | | | | 実装レベル | 取組状況 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | |
| 64 | クロスメディアによる情報発信 | 広報誌などの既存の手段に加え、SNSや動画配信サービスなどの身近なデジタルサービスを通じて親しみやすくわかりやすい情報発信を行います。 | SNS、動画配信サービス | 3 | SNS（LINE、Twitter、Facebook）や動画配信サービス（YouTube）などを活用し、情報発信を行っています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-2 | | |
| 65 | 必要な相手へのプッシュ型情報発信 | 世代等に応じた住民一人ひとりのニーズにあった情報やサービスをプッシュ型で提供します。 | LINE | 0 | 今治市公式LINEを活用し、希望する方に対し、年代別、地域によって必要な情報発信をプッシュ方で発信しています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-2 | | |
| 66 | BPR（業務改革）の実施による業務プロセスの最適化 | 事務作業の効率的なデジタル化のため、業務の最適化や、複数の課にまたがる手続きの整理化などを行います。 | BPR | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3-3 | | |
| 67 | AI-OCR*、RPAを活用した事務効率化 | 職員が手作業で行っている事務処理や作業にAI-OCR、RPAなどを活用し、プロセスの自動化、省力化を行い、業務の生産性を向上させます。 | AI-OCR（*103）、RPA | 2 | 令和3年度に、実証実験として3課4業務についてAI-OCR、RPAを利用した業務の効率化を図りました。令和4年度に正式導入し、年度内に3～5のシナリオ作成を目指して取組を進めています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-3 | | |
| 68 | 標準化モデル（*104）への移行 | 国の主導により、地方自治体の情報システムの標準化を推進し、住民サービスの最適化を迅速に進めます。 | ガバメントクラウド | 1 | 国の方針に基づき、令和7年度までにガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへの移行を目指します。 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3-3 | | |
| 69 | スマート市議会の推進 | 今治市議会にてタブレットや電子資料を活用し、ペーパーレスでスマートな議会運営を進めます。 | グループウェア、チャットツール、PDFビューアー | 2 | 令和5年度中旬を目途に導入予定です。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-3 | | |
| 70 | ため池遠隔監視システムの導入 | ため池の水位をセンサーで遠隔把握し、豪雨時や地震後に安全かつ迅速に状況把握できるようにします。また、日常の水位管理の省力化、併せて濁水時の貯水量管理にも活用が可能となります。 | 測位サービスを用いた水位計、水位監視システム | 1 | 高精度測位サービスを用いた水位計の実証実験を行っています。その結果を元に令和6年度以降に本格導入を目指します。 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3-3 | | |
| 71 | 市税等支払いへの電子決済の導入 | 市税等をキャッシュレスで24時間いつでも支払える仕組みをつくることで、市民の利便性を高め、徴収率の向上を目指します。 | キャッシュレス決済、QRコード決済 | 3 | 令和元年度における市税の口座振替・コンビニ納付、キャッシュレス決済による収納率は70.5%でした。令和7年度までに80%を目指します。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-4 | | 今治市行政改革ビジョン |
| 72 | 市職員の多様な働き方の推進 | テレワークやサテライトオフィスなど、多様な働き方を推進します。 | テレワークの実施 | 3 | 令和4年度現在、テレワーク利用率約10%（令和4年8月末時点、124人）、未来デジタル課にサテライトオフィスを設置 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-4 | | |
| 73 | ペーパーレス化の推進 | 書類の電子化を進め、令和6年度までに令和4年度比40%減の用紙削減を進めます。 | 電子決裁システム、文書管理システム | 2 | 令和4年度コピー用紙購入数（見込）A4：3,915箱 A3：412箱 令和5年度から文書管理・電子決済システムを導入し、決裁文書を順次電子化する予定です。 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-4 | | |
| 74 | スマートオフィス化の推進（オフィスの改善） | 集中ブースや交流スペース、ウェブ会議ブースなど、時代に合わせ職員の生産性を上げるオフィスを構築します。 | 集中ブースや交流SPなど多様なオフィス | 1 | 先進地視察等を通じてオフィスのあり方を検討しています。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3-4 | | |

※ 実装レベルは、おおむね次の段階を示しています。 0：🌀構想段階 1：🌀検討中・研究中 2：🌀試験導入・実証実験中 3：🌀実施中・展開中

| 番号 | 取組名称 | 目指す未来像 | 活用可能な技術等の例 | R4年度現在 | | 実装レベル目標 | | | | | 分野番号 | 関連リンク | 参照する計画等 |
|----|---------------------------|---|----------------------------------|--------|--|---------|----|----|----|----|------|---|------------------------------------|
| | | | | 実装レベル | 取組状況 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | |
| 75 | スマートオフィス化の推進 (内線電話の改善) | フリーアドレス (*105) の推進と合わせ、内線電話をスマートフォン化することで、場所にとらわれず働ける職場を作ります。 | スマホ内線 | 2 | 未来デジタル課の一部で実験導入中 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3-4 | | |
| 76 | スマートオフィス化の推進 (勤退管理の改善) | 市の職員証をICカード化し、出退勤管理をデジタル化して、適正な労務管理とワークライフバランスの推進に役立てます。 | 職員証のICカード化、出退勤管理のデジタル化 | 1 | 令和6年度導入に向け準備中 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3-4 | | |
| 77 | スマートオフィス化の推進 (働き方の改善) | 改築や建替などのタイミングで、オフィスの無線化を進め、フリーアドレスで仕事のできる環境を整備します。 | オフィスの無線化、フリーアドレス化 | 1 | 一部の部署で試験的に導入しています。また、令和6年完成予定のしなみ合同庁舎の建設に向けて検討中です。 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-4 | | |
| 78 | マイナンバーカードの普及 | 令和5年度末までに、マイナンバーカードの普及率を75%にし、誰もがマイナンバーカードを用いて行政手続き等を便利に行えるようにします。 | マイナンバーカード | 2 | 令和5年度2月現在交付率 71.23% | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-5 | | |
| 79 | 行政データ・企業データの共同利用 | データ連携プラットフォームの整備により、匿名化された行政データや企業データを安全に一元化し、集約されたデータを活用したアプリやサービスの展開を行います。 | オープンデータ、都市OS、データ連携プラットフォーム | 1 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3-5 | | |
| 80 | オープンデータの公表 | 今治市が保有する統計データを公表することで、地域の企業などが自由に活用できるようにします。また、将来的には行政手続き等をデジタル化することで、活用可能なデータが自動的に作成される仕組みを目指します。 | オープンデータ | 2 | 今治市オープンデータをHPにて公表しています。 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3-6 | https://www.city.ima-bari.ehime.jp/opendata/ | |
| 81 | EBPM（客観的エビデンスに基づく政策立案）の推進 | エビデンスに基づく政策立案を行います。また、そのために職員のデータの利活用スキルを向上させます。 | オープンデータ、RESAS（リーサス）、将来人口推計、人流データ | 1 | ホームページに「データ分析に基づく地域経済等の見える化」を掲載し、国の将来人口推計や地域経済循環分析手法等を活用した定量的なデータの分析・検証に基づくアプローチを進めています。 | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3-6 | | 今治市人口ビジョン（令和2年3月改訂） |
| 82 | 公共施設への公衆Wi-Fiの設置 | 公共施設などに公衆FreeWi-Fiを設置し、災害時やイベント時に活用します。 | Wi-Fi | 2 | 愛媛県と連携し、公共施設へのWi-Fi設置を進めています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-7 | | |
| 83 | 市内のどこでも高速回線を利用可能 | 地域によって情報格差が生じないよう、市域のどこでも高速回線を利用可能な環境の整備を推進します。 | 5G、高速通信回線 | 2 | 高速回線の要望が大きい関前岡村、菊間町長坂、菊間町西山、吉海町仁江（志津見地区）に光ファイバ回線を整備します。令和7年度までに該当地域の整備率100%を目指します。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-7 | | 高度無線環境整備推進事業における光ファイバ整備計画及び無線局開設計画 |
| 84 | 農林業現場でのLPWA活用 | 農林業などの現場にLPWA（低消費電力で長距離の通信）を導入し、現場の負担を軽減して生産性を上げるスマート農林業を目指します。 | LPWA | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3-7 | | |
| 85 | 職員DX人材の育成 | デジタル技術の進歩に応じ、デジタルに関する知識やスキルを有する職員を育成します。 | eラーニング | 1 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3-8 | | |

※ 実装レベルは、おおむね次の段階を示しています。 0：🌀構想段階 1：🔄検討中・研究中 2：🧪試験導入・実証実験中 3：🏆実施中・展開中

| 番号 | 取組名称 | 目指す未来像 | 活用可能な技術等の例 | R4年度現在 | | 実装レベル目標 | | | | | 分野番号 | 関連リンク | 参照する計画等 |
|----|-----------------------|--|--------------------------------------|--------|--|---------|----|----|----|----|------|---|------------------------------------|
| | | | | 実装レベル | 取組状況 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | |
| 86 | アジャイル型業務改善の推進 | 研修やOJTを通じて、DXに必要な変革マインドを持った職員の育成に取り組みます。また、従来職員の職責見直し、アジャイル型の業務改善を推進します。 | eラーニング | 0 | 技術や制度について情報収集を進めます。 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3-8 | | |
| 87 | 職員へのリカレント教育（学びなおし）の推進 | 時代に合わせて必要とされる知識や技術を取得を推進するため、職員のリカレント教育（学びなおし）に関する制度を整備します。 | eラーニング | 3 | デジタルに限らず、職員に対して資格取得制度を設け、新しい知識や技術取得を支援しています。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-8 | | |
| 88 | 庁内情報セキュリティの向上 | 庁内における情報セキュリティや個人情報保護を、ソフト、ハードの両面から徹底します。 | EDR（Endpoint Detection and Response） | 3 | 令和4年度に今治市役所のインターネットに接続可能な端末に、端末の不審な挙動を検知し迅速な対応を行うため、EDRを導入しました。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-9 | | 「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」 |
| 89 | サイバー犯罪防止やインシデント対策 | 今治市の取り扱う情報や、管理するシステムについて、サイバー犯罪の防止やインシデント対策を適切に講じます。 | | 3 | 令和4年10月に今治市CSIRT（Computer Security Incident Response Team）を設置しました。今治市の情報管理やシステム運用に関して保安上の脅威となる事象を取り扱います。 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3-9 | https://www.city.ima-bari.ehime.jp/mirai/CSIRT/ | サイバーセキュリティ基本法第5条 |
| 90 | 情報モラル向上の取組 | 市民や企業の情報モラル、ICTリテラシーの向上を目指す取組を継続的に実施し、誰もが安心してデジタルの恩恵を受けられる社会の実現を目指します。 | スマホ教室、デジタル未来戦略会議（仮）、今治市消費生活センター | 1 | スマホ教室などを通じ、市民の情報リテラシー向上を支援しています。 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3-9 | | |

※ 実装レベルは、おおむね次の段階を示しています。 0：🌀構想段階 1：🔍検討中・研究中 2：🔄試験導入・実証実験中 3：🏆実施中・展開中